

2020年12月8日
内閣サイバーセキュリティセンター

重要インフラ 14 分野を対象に サービス障害対応のためのサイバー演習を実施 ～2020年度「分野横断的演習」～

2020年12月8日(火)、内閣サイバーセキュリティセンターは、重要インフラ分野におけるサービス障害への対応能力の維持・向上を図ることを目的に、「分野横断的演習」を実施しました。

この演習は、重要インフラ 14 分野の事業者等が参加するものであり、実際の事案発生を模擬することにより、重要インフラ事業者等が実施するサイバーセキュリティ対策が有効に機能しているかどうかを確認し、改善につなげるためのものです。

演習開催にあたり、橋本聖子東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣（サイバーセキュリティ戦略本部副本部長）の挨拶（ビデオメッセージ）がありました。

橋本大臣は、参加者に対し、本演習を通じて課題を抽出・改善し重要インフラサービスの安全かつ継続的な提供につなげることを期待する旨挨拶を行いました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、集合会場を使用せず、自職場（テレワーク環境を含む）から参加していただく方式としました。約4,700名が参加し、テレワーク中における対応や、来年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間中における対応について確認するなど、障害対応体制の強化を図りました。



開会式にてビデオメッセージで挨拶を行う橋本大臣